

■発売元  株式会社 **ヨシキン**
東京都大田区大森北1-8-5 TEL 03(3768)0011(代)

■製造元  株式会社 **吉田金属製作所**
東京都大田区京浜島2-12-20 TEL 03(3790)1191(代)

サービスステーション

東京/東京都大田区京浜島2-12-20 TEL 03(3790)0619

YOSHIKIN CAN WARMER

全自動
前・後面扉

CANウォーマー

HW-36

HW-54

取扱説明書

このたびはヨシキン缶ウォーマーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

誤ったご使用は思わぬ事故につながります。ご使用の前には、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。また、取扱説明書はお使いになる方が、いつでもご覧いただける所に、保管してください。

保証書付

目次

1. 安全にご使用いただくためのご注意	1
2. 安全にご使用いただくために	
設置上のご注意	2
ご使用上のご注意	4
お手入れの際のご注意	6
故障時のご注意	7
製品廃棄上のご注意	8
3. 扉の開く向きを変える時には	8
4. 缶ウォーマー各部の名称(付属部品の名称)	9
5. ご使用方法	10
6. お手入れのしかた	15
7. 調子のよくないときには	16
(故障診断とメンテナンスについて/部品交換について)	
8. 製品の廃棄について	18
9. 仕様表	18
保証書	18

※取扱説明書を紛失してしまった場合は、メーカーにお問い合わせください。
有償でおわけいたします。

■発売元■
 株式会社 **ヨシキン**
東京都大田区大森北1-8-5 TEL 03(3768)0011(代)

1 安全にご使用いただくためのご注意

ここに記載の注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

いずれも安全に関する重要な内容を記載してありますので、必ず記載事項に従ったご使用をしてください。

◆危険表記の説明◆

本取扱説明書では注意事項を記載する上で、その危険の程度から「警告」および「注意」の2つの段階に分けています。

警告 この表記を無視して誤った取扱いをすると、死亡や重傷など、人体への重大な損傷が起きる可能性がある内容を示しています。

注意 この表記を無視して誤った取扱いをすると、軽傷または中程度以上の損傷を負う可能性がある内容および他製品の破損が想定される内容を示しています。

◆記号の説明◆

本取扱説明書では、以下の記号を使用しています。

!	一般的な行動指示を示しています。
🔥	「発火する恐れがあります」といった内容を示しています。
💥	「破裂する恐れがあります」といった内容を示しています。
⚡	「感電する恐れがあります」といった内容を示しています。
🔥	「高温による障害の恐れがあります」といった内容を示しています。
🚫	一般的な行動禁止指示を示しています。
🔥🚫	「接触をすると火傷の恐れがあります」といった内容を示しています。
🚫🔧	「分解してはいけません」といった内容を示しています。

※製品本体に、表示ラベルが貼り付けてあります。表示ラベルが見えにくくなったり、はがれてしまった場合は、メーカーにお問い合わせください。有償でおわけいたします。

8 製品の廃棄について

⚠警告



●製品の廃棄は、許可を受けている専門の処理業者へご依頼ください。事故発生の原因となります。

9 仕様表

名 称	全自動 CAN ウォーマー	
型 式 名	HW-36	HW-54
外 形 寸 法	幅230×奥行380×高さ495	幅230×奥行380×高さ665
重 量	約7kg	約10kg
電 源	AC 100V 50/60 Hz	AC 100V 50/60 Hz
消 費 電 力	各段共190W(2段/380W)	各段共190W(3段/570W)
温 度 制 御	各段独立制御(自動保温制御装置)	各段独立制御(自動保温制御装置)
安 全 装 置	温度過昇防止装置(手動復帰サーモ)	温度過昇防止装置(手動復帰サーモ)
収 容 本 数	190ml缶、250ml缶/1段3列×奥6本=18本×2段=36本 350ml缶/1段2列×奥5本=10本×2段=20本	190ml缶、250ml缶/1段3列×奥6本=18本×3段=54本 350ml缶/1段2列×奥5本=10本×3段=30本

※仕様は品質向上のため、予告なく一部変更することがあります。

保証書

◆保証内容 弊社製品は厳重な検査を経て出荷しておりますが、万一故障が発生した場合には、弊社サービス・ステーション（裏面をご参照ください）へ送付又は、ご持参ください。下記の保証条件に従って保証期間（下記記載）内のサービスは無料で致します。

◆保証条件 保証期間中でも、下記事項に該当する損傷・故障については適用されません。
 (1)取扱説明書に指示されている以外の取扱いをした場合。
 (2)天災地変、盗難及び電源電圧などの不适当による損傷・故障。
 (3)無断仕様変更及び、無断改造修理による損傷・故障。
 (4)使用者の過失、手入れの不十分及び器具の点検不整備による損傷・故障。

形 式 名	CAN ウォーマー HW-36/HW-54
製造番号	
保証期間	ご購入日より1年間

■発売元  株式会社 **ヨシキ** 東京都大田区大森北1-8-5 TEL 03(3768)0011(代)

■製造元  株式会社 **吉田金属製作所** 東京都大田区京浜島2-12-20 TEL 03(3790)1191(代)

設置の際には、下記のことを必ず守ってください。

⚠ 警告



●製品に異常を感じた時は、製品の使用を中止し、必ず電源スイッチを切り電源プラグを抜いて、最寄りのサービスステーションへご連絡ください。そのまま放置すると事故発生の恐れがあります。

●本製品に関わる部品・内装品の交換は、最寄りのサービスステーションへ依頼してください。不適切な交換は、感電、火災、事故の発生原因となります。



●電源プラグ、コンセント、スイッチ、を操作する際には、絶対に濡れた手で操作しないでください。感電の恐れがあります。

●本製品に関わる修理・部品の交換は、必ずサービスステーションに依頼し、お客様が行うことは絶対におやめください。感電やケガなど事故の発生原因となります。

⚠ 注意



●修理は、最寄りのサービスステーションへ依頼してください。不完全な修理は、感電、火傷、火災の原因となります。

●製品が災害等で水没した場合は、最寄りのサービスステーションへ連絡してください。使用を続けると感電や火災の原因となります。



●漏電遮断器がたびたび作動した場合は、電源スイッチを切り電源プラグを抜いてから、最寄りのサービスステーションへ連絡してください。使用を続けると、感電や火災の原因となります。



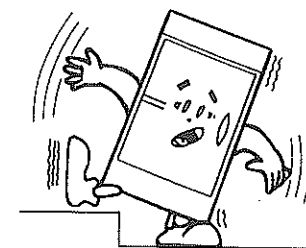
●製品の分解はしないでください。事故の発生原因となります。

⚠ 警告



●設置場所は、水平で丈夫な台の上をお選びください。

不適切な設置場所は、転倒事故、感電、火災、火傷の恐れがあります。



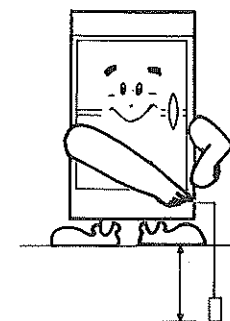
●設置に伴う屋内配線の変更は、資格を持つ専門業者にご相談の上、ご依頼ください。不適切な配線は、火災、爆発の恐れがあります。



●設置場所に、都市ガス、プロパンガス、ガソリンなど可燃性のガスが漏れないように配慮してください。揮発性の高いものが漏れると火災、爆発の恐れがあります。



●必ずアース線を接続してください。アースが接続されていないと漏電時に感電や火災の原因となります。



●アースは、ガス管や水道管、電話回線のアース、避雷針などに接続しないでください。感電や火災の原因となります。

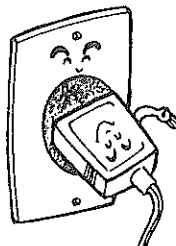
△注意



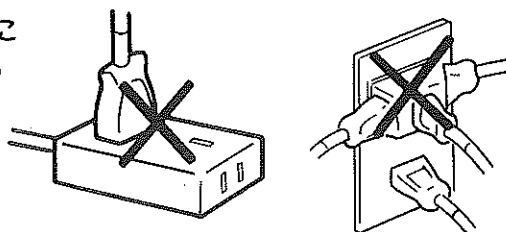
●設置場所は、製品本体の幅・奥行ともに10cm以上広い場所をお選びください。不適切な設置場所は、事故の発生原因となります。

●単相100Vで電流容量15A以上の専用コンセントをご使用ください。指定外コンセントの使用は、火災の原因となります。

●電源コードは、踏みつけたり、物をのせたり、無理にねじ曲げたりしないでください。電源コードが破損し、感電や火災の原因となります。電源コードが破損した場合は、サービスステーションへ連絡して交換してください。



●延長コードの使用やタコ足配線は、絶対におやめください。火災の原因となります。



7

調子のよくないときには

(故障診断とメンテナンスについて／部品交換について)

ご使用中に異常が生じた場合は、修理サービスを依頼される前に下記の点をお調べください。

温まらない場合

- 電源プラグが外れていないか確認してください。
- 電源スイッチが切れていないか確認してください。
- 停電ではないか確認してください。
- 店内の電源ブレーカーやヒューズが切れていないか確認してください。
- 安全装置が作動していないか確認してください。(復帰方法は、12ページをご参照ください。)

温まり方が悪い場合

- 扉がきっちり閉まっているか確認してください。
- 商品の出し入れが激しい場合は、一時的に温度が下がることがあります。激しい出し入れは控えてください。



上記を充分にご確認いただいた上でも異常が改善されない場合、または上記以外の異常が発生した場合は、最寄りのサービスステーションへ修理を依頼してください。

補修用部品の保有期間

◆当社CANウォーマーの補修用部品保有期間は、該当機種製造中止後5年間です。

食品（飲料）に使用する製品です。製品を清潔に保つよう、週に一度または汚れてしまったら、下記の順に従って清掃してください。

- ①電源スイッチを切り（OFF）、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ②後面扉を開け、庫内を完全に冷ましてください。
- ③製品表面全体、内部とも、やわらかい布で空拭きしてください。

汚れのひどい場合

薄い石けん水を浸したやわらかい布で汚れを拭きとり、その後、空拭きをします。

警告



- 製品清掃の際には、絶対に水洗いしないでください。火災、感電の恐れがあります。



- 汚れを落とすため、シンナーやベンジンなど揮発性、引火性の高い薬品類を使用しないでください。また、絶対に庫内にも入れないでください。爆発、火災の恐れがあります。



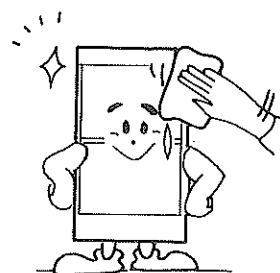
注意



- 食品（飲料）に使用する製品ですので、清掃のための洗剤は、必ず食器洗い専用中性洗剤をご使用ください。衛生上の事故発生の原因となります。

- ガラス面の清掃は、たたいたり、強く押したりせず慎重に行ってください。ガラスが割れ、ケガの原因となります。

- 製品清掃の際には、必ずやわらかい布をご使用ください。キズがついたり、故障の原因となります。



- 清掃の際には、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて扉を開け、10分間待ち、製品が十分に冷めているか確認してから行ってください。火傷やケガの原因となります。

（万一火傷をした場合は、冷水で患部を冷し、医師の診断を受けてください。）

安全にご使用
いただくために

ご使用上のご注意

ご使用の際には、下記のことを必ず守ってください。

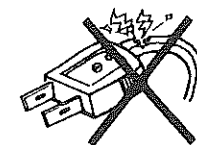
警告



- 加温できる缶飲料以外は、絶対に入れないでください。（炭酸飲料やビン類は絶対に入れないでください。）破裂し、ケガをしたり、衛生上の事故発生の恐れがあります。
- 指定された缶飲料であっても、一度開封した飲料は絶対に入れないでください。食品衛生上の事故発生の恐れがあります。

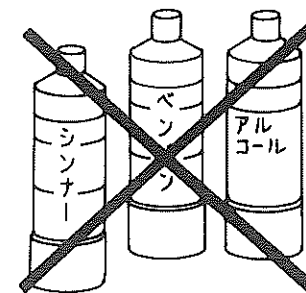
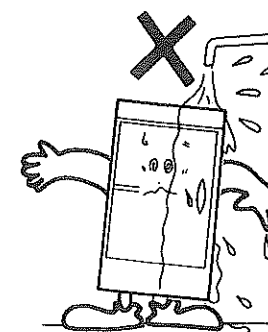


- 電源プラグやコンセントは、破損していないか、1週間に一度は必ず点検してご使用ください。火傷や感電、火災の原因となります。



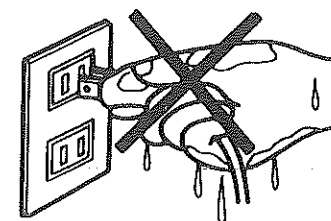
- シンナーなどの可燃物や可燃ガス、揮発性、引火性の高い薬品類を近くで使用したり、庫内に入れないでください。爆発や火災の恐れがあります。

- 本体に水をかけないでください。高温のガラスが急激に冷却され、破裂しケガをしたり、感電の恐れがあります。



- 濡れた手で電源プラグ、コンセント、スイッチ、を絶対に操作しないでください。感電の恐れがあります。

- 製品内部の電気部品は、水に濡れないようにしてください。感電の恐れがあります。



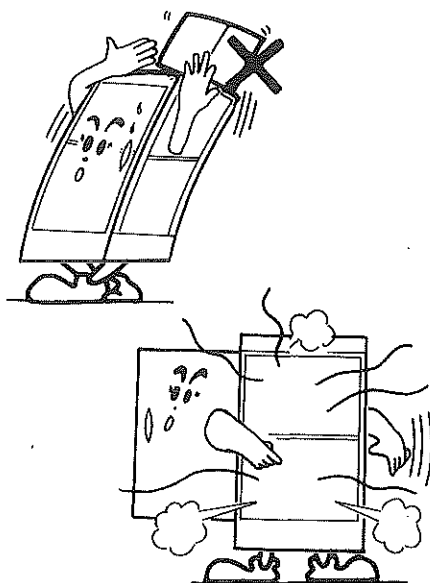
⚠ 注意



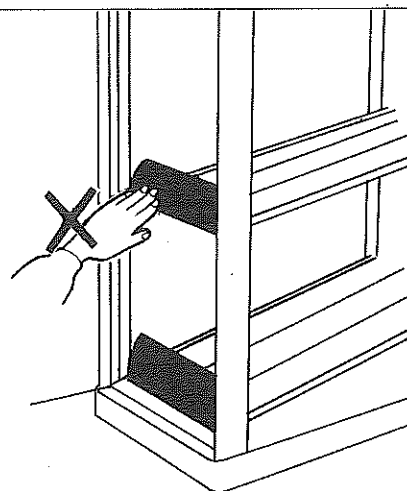
- 商品補充の際には、製品後面の扉より商品を補充し、前面より取り出しの商品先入れ・先出し（先に入れたものを、先に売る。）をしてください。品質劣化など衛生管理上の事故の発生原因となります。



- 製品の上にものを乗せたり、よりかかったりしないでください。転倒事故でケガをしたり、製品故障の原因となります。
- 運転中は、扉がきちんと閉まっている状態にしてください。また、商品の出し入れ・補充の際でも長時間開けっ放しにしないでください。あたたまった商品が冷えてしまいます。



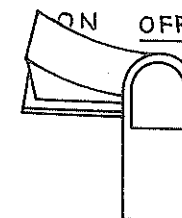
- 缶ウオーマーの周囲や内部は高温になっています。商品の出し入れ・補充の際には、棚板（熱板プレート）・ガイドレールを直接手でさわらないでください。火傷やケガの原因となります。
- 商品の取り出し口より奥へ手を入れないでください。火傷やケガの原因となります。
- 安全装置をリセットする時は、P12のリセット方法に従い作業し、庫内が冷めているか十分に確認した後、行ってください。庫内は高温になっていますので、火傷やケガの原因となります。



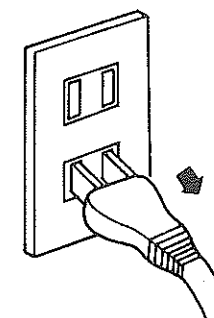
（万一火傷をした場合は、冷水で患部を冷し、医師の診断を受けてください。）

運転終了

1. 電源スイッチを切ります。（“OFF” にします。）



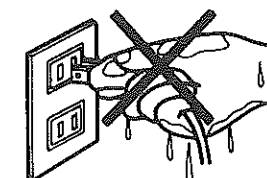
2. 電源プラグを専用コンセントから抜いてください。



⚠ 警告



- 濡れた手で電源プラグ、コンセント、スイッチ、を操作しないでください。感電の恐れがあります。



- 必ずプラグ部分を持って、コンセントから電源プラグを引き抜いてください。コードを引っ張って抜いたりすると、電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

安全にご使用
いただくために

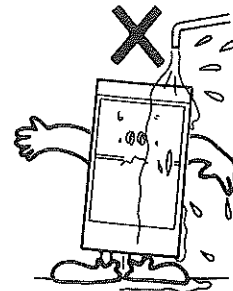
お手入れの際のご注意

お手入れの際には、下記のことを必ず守ってください。

⚠警告



- 本体に水をかけないでください。
高温のガラスが急激に冷却され、破裂しケガを
したり、感電の恐れがあります。



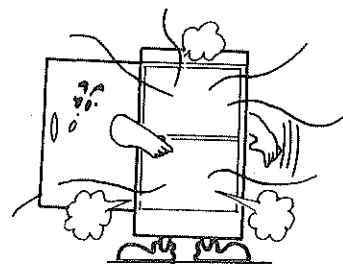
⚠注意



- 商品補充の際には、製品の後面扉より商品を補充し、前面より取り出しの商品先入れ・
先出し（先に入れた物を先に売る。）をしてください。品質劣化など、衛生管理上の
事故の発生原因となります。



- 運転中は、扉がきちんと閉まっている状態にし
てください。また、商品の出し入れ、補充以外
は、開けっ放しにしないでください。あたたま
った商品が冷えてしまいます。



- 安全装置をリセットする時は、P12のリセット方法に従い作業し、庫内が冷めている
か充分に確認した後、行ってください。庫内は高温になっていますので、火傷やケガ
の原因となります。

（万一火傷をした場合は、冷水で患部を冷し、医師の診断を受けてください。）



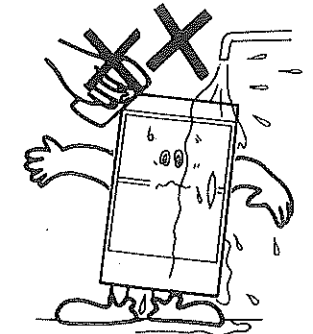
- 製品の内部は高温になっています。商品の出し入れ・補充の際には、棚板（熱板プレ
ート）・ガイドレールを直接手でさわらないでください。火傷やケガの原因となります。
- 商品の取り出し口より奥へ手を入れないでください。火傷やケガの原因となります。

（万一火傷をした場合は、冷水で患部を冷し、医師の診断を受けてください。）

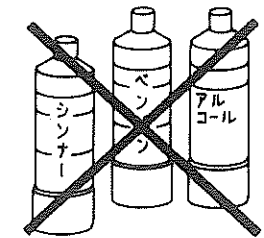
⚠警告



- 製品清掃の際には、絶対に水洗いしないでくだ
さい。火災、感電の恐れがあります。



- 汚れを落とすため、シンナーやベンジンなど揮
発性、引火性の高い薬品類を使用しないでくだ
さい。また、絶対に庫内にも入れないでくだ
さい。
爆発、火災の恐れがあります。



⚠注意



- 製品の清掃の際には、必ず柔らかい布をご使用ください。キズがついたり、故障の原
因となります。
- ガラス面の清掃は、ただいたり強く押したりせず、慎重に行ってください。ガラスが
割れ、ケガの原因となります。



- 清掃の際には、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて扉を開け、10分間待ち、製品
が充分に冷めているか確認してから行ってください。火傷やケガの原因となります。

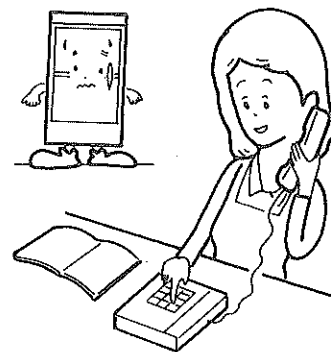
（万一火傷をした場合は、冷水で患部を冷し、医師の診断を受けてください。）

製品に異常を感じた時は、下記のことを必ず守ってください。

⚠警告



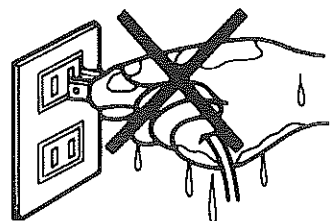
●製品に異常を感じた時は、製品の使用を中止し、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、最寄りのサービスステーションにご連絡ください。そのまま放置しますと、事故発生の恐れがあります。



●本製品に関わる部品・内装品の交換は、最寄りのサービスステーションへ依頼してください。不適切な交換は、感電、火災、事故の発生原因となります。



●電源プラグ、コンセント、スイッチ、を操作する際には、絶対に濡れた手で操作しないでください。感電の恐れがあります。



⚠注意



●製品が災害等で水没した場合は、最寄りのサービスステーションへ連絡してください。使用を続けると感電や火災の原因となります。



●漏電遮断器がたびたび作動した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、最寄りのサービスステーションへ連絡してください。使用を続けると、感電や火災の原因となります。



●製品の分解はしないでください。事故の発生原因となります。

●修理は、最寄りのサービスステーションへ依頼してください、不完全な修理は、感電、火傷、火災の原因となります。

運転中

◆商品の補充について

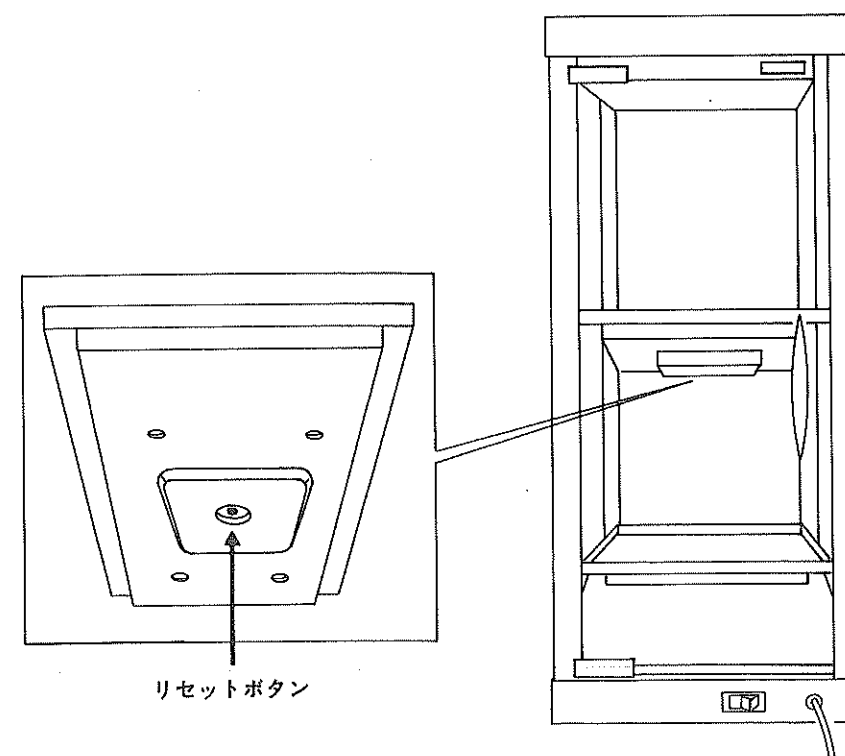
商品補充の際には、製品の後面扉より商品を補充してください。

◆商品の補充時期について

商品は、各棚板（熱板プレート）とも、全量の1/3の商品が減ってしまったら補充の目安にしてください。

◆安全装置が作動した場合のリセット方法

- ①電源スイッチを切ります。
- ②各棚板（熱板プレート）より缶飲料をすべて出してください。
- ③扉を開けたまま5分程待ち、製品本体を冷まします。
- ④各棚板（熱板プレート）の裏側中央に、“リセットボタン（赤色）”があります。棚板（熱板プレート）が冷えたのを確認した後、リセットボタンを押してください。
- ⑤缶飲料を入れ直します。
- ⑥電源スイッチを入ると復帰します。



安全にご使用
いただくために

製品廃棄上のご注意

製品を廃棄する際には、下記のことを必ず守ってください。

警告



●製品の廃棄は、許可を受けている専門の処理業者へご依頼ください。
事故発生の原因となります。

警告



●加温できる缶飲料以外は、絶対に入れないでください。(炭酸飲料やビン類は絶対に入れないでください。)破裂し、ケガをしたり、衛生上の事故発生の恐れがあります。

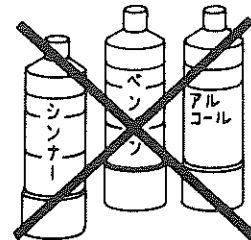
●指定された缶飲料であっても、一度開封した缶飲料は絶対に入れないでください。
食品衛生上の事故発生の恐れがあります。



●電源プラグやコンセントは、破損していないか、1週間に一度は必ず点検してください。感電や火傷、火災の原因となります。

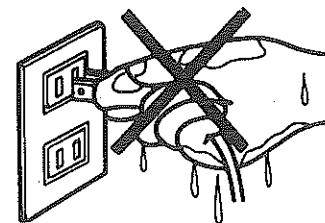


●シンナーなどの可燃物や可燃ガス、揮発性、引火性の高い薬品類を近くで使用したり、庫内に入れないでください。爆発や火災の恐れがあります。



●濡れた手で電源プラグ、コンセント、スイッチ、を操作しないでください。感電の恐れがあります。

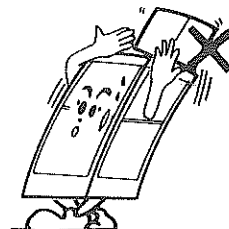
●製品内部の電機部品は、水に濡れないようにしてください。感電の恐れがあります。



注意



●製品の上にものを乗せたり、よりかかったりしないでください。転倒など、事故の発生原因となります。
転倒事故でケガをしたり、製品の故障原因となります。



3

扉の開く向きを変える時には

①左上の2つのヒンジネジをゆるめ、上ヒンジから座金と扉を右横にずらし、外してから上ヒンジも本体から外します。

注) ヒンジネジは、ゆるめるだけで外さないでください。

②下ヒンジがついたままの扉を持ち上げ、本体から外します。

③右上のマグネットのネジをゆるめて外し、左どりのマグネットの取付位置にネジで固定し取付けてください。

注) ネジはきつくしめず、マグネットが少し左右に動く程度に加減してください。

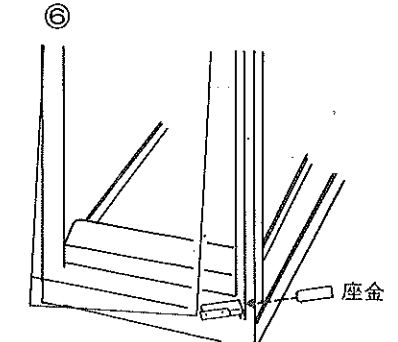
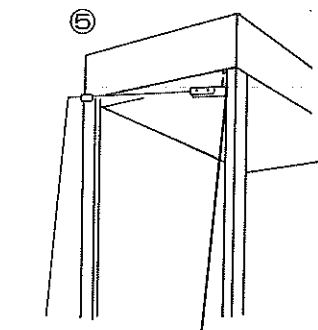
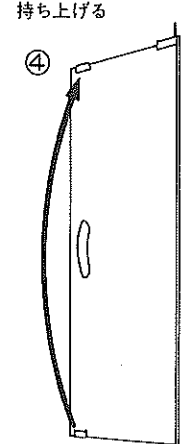
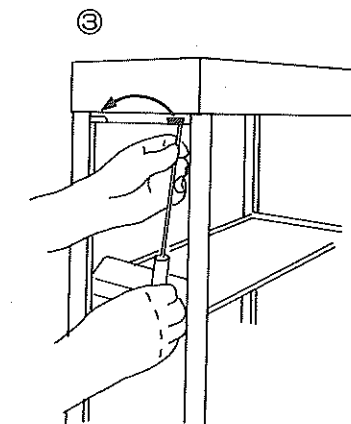
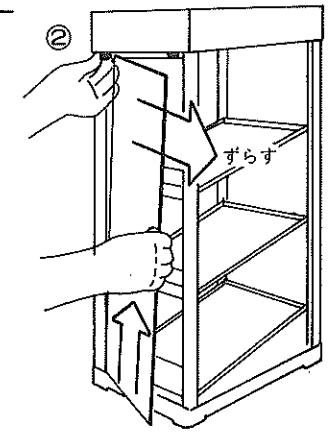
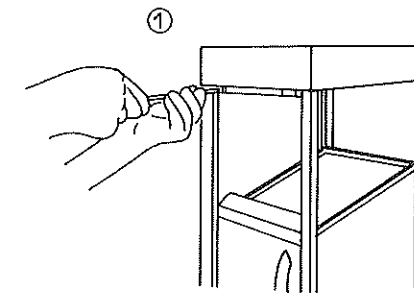
④扉ガラス上のマグネットキャッチを外し、扉ガラスの上下を反対にし、マグネットが当たる位置に付け直します。

⑤本体右上に、上下を反対にした扉ガラスの右上のヒンジを差し込みます。

⑥①で外したヒンジを下に差し込み、扉ガラスを横から入れ、座金を手前に入れて2つのネジでしめてください。

注) ヒンジの右端と扉ガラスの右端をそろえてください。

●ご用意いただくもの プラスドライバー

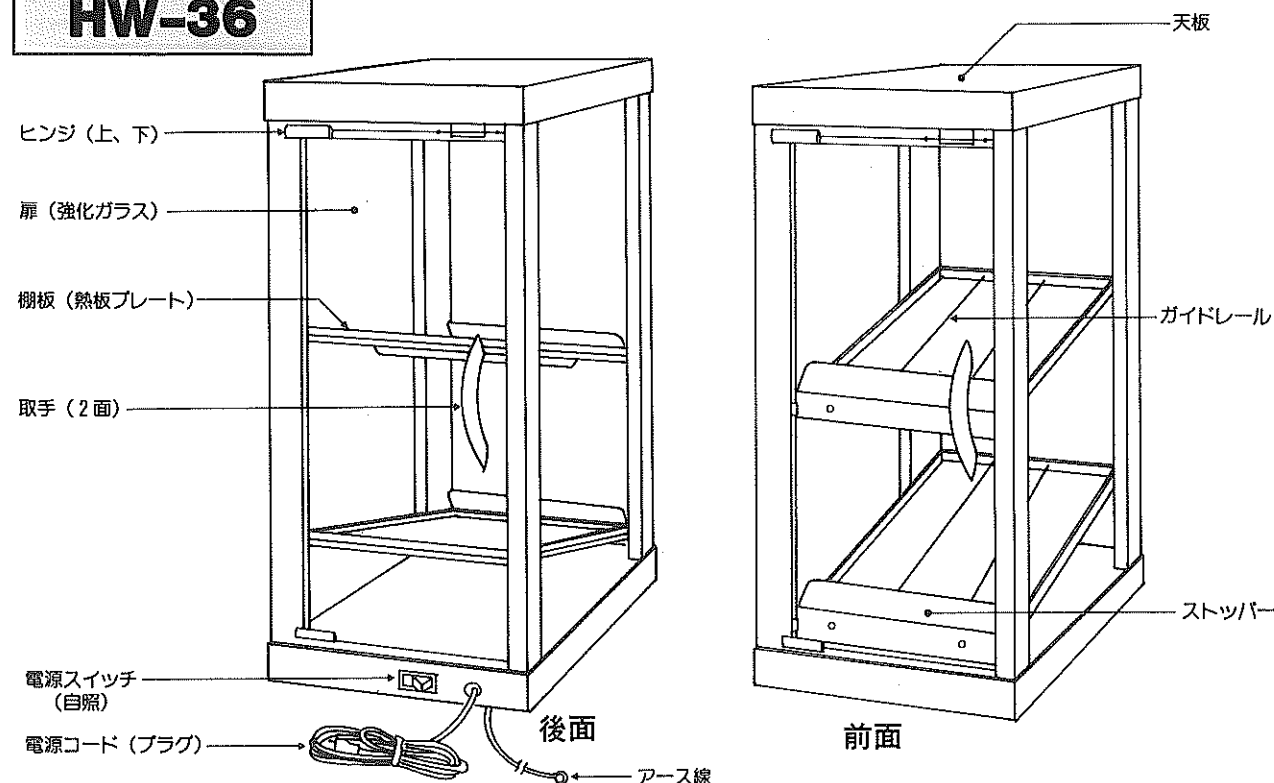


4

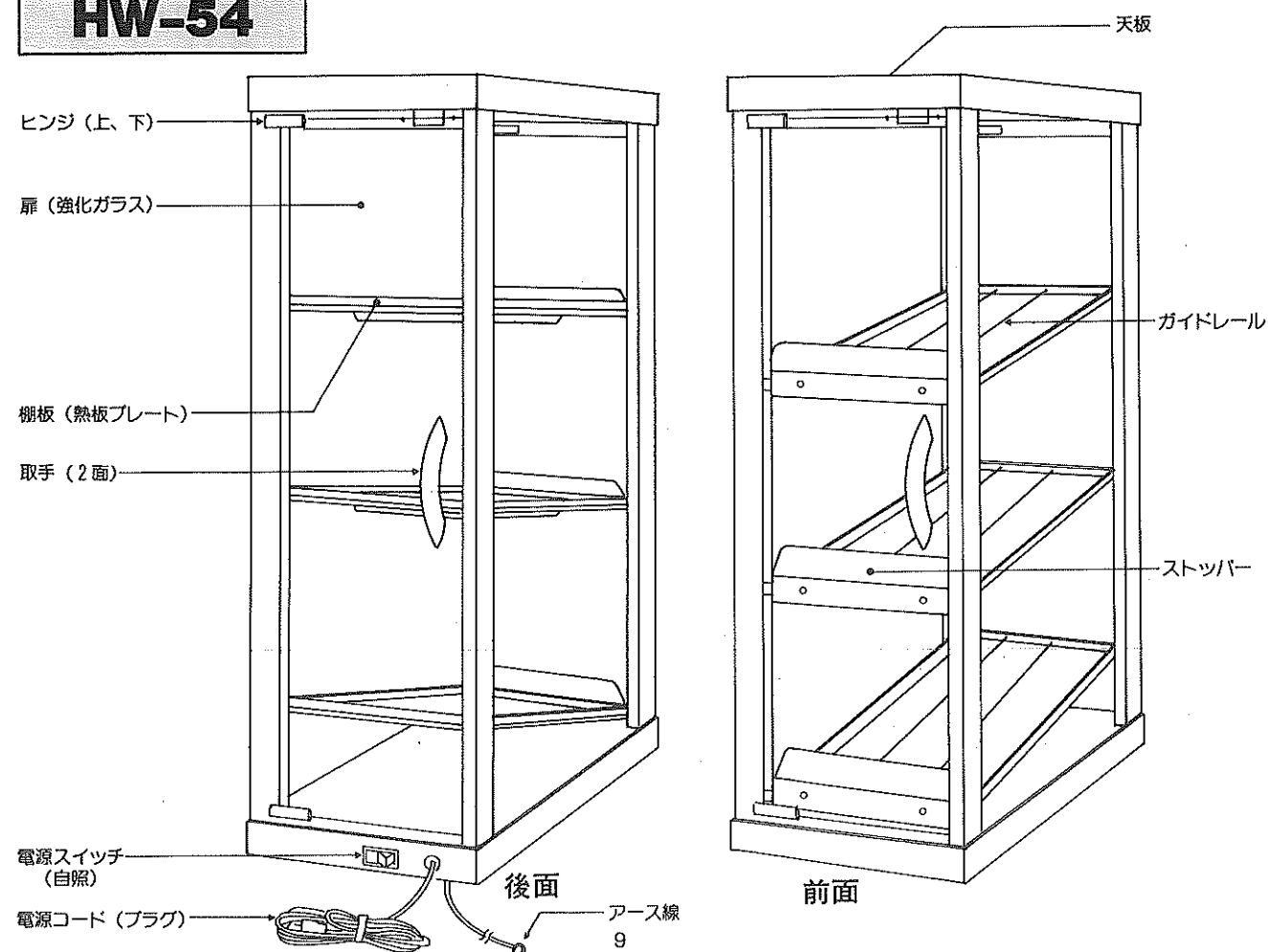
缶ウォーマー各部の名称

(付属部品の名称)

HW-36



HW-54



5

ご使用方法

ご使用の際は、下記の手順に必ず従ってください。

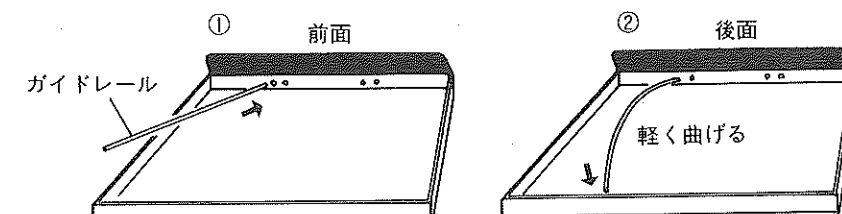
運転開始

1. ガイドレールを缶サイズに合わせて取り付けます。

①ガイドレールの先端を前面の穴に差し込みます。

②もう片方の先端を前面の穴と同じ位置の後面の穴に差し込んでください。

少しだけ弓なりに軽く曲げて入ると、うまく入ります。

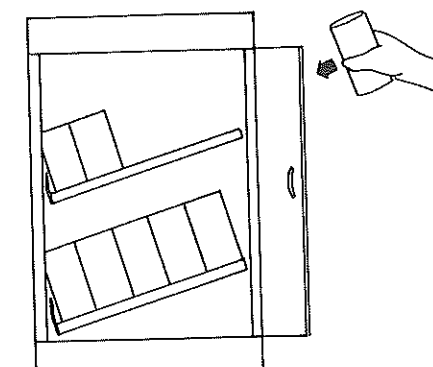


2. 缶飲料を各棚板 (熱板プレート) に全量入れます。

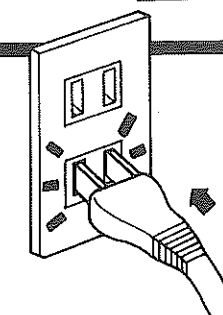
製品の後面扉より、缶飲料を全量入れてください。

※安全装置を内蔵しています。空運転をすると温度が必要以上に上昇し、安全装置が作動する場合がありますので、ご使用はじめは、各段とも全量缶飲料を入れてください。

※安全装置が作動し通電が止まっても、故障ではありませんので、リセット方法により (P12の安全装置が作動した場合のリセット方法を参照) 復帰させて下さい。



3. 電源プラグを専用コンセントに差し込みます。



4. 電源スイッチを入れてください。

電源スイッチを“ON”にします。あとは自動的に昇温し、一定温度に達すると保温サーモが働き一定温度を保ちます。

